

卒業式の意味を考え、十分な準備をし、卒業式に積極的に参加しよう

—学校や組織の行事の意味をよく考えよう—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)今週は栃木県、群馬県、茨城県の3県では県立高校入試の合格発表がありました。受験生の皆さんの入試の結果はどうだったでしょうか。この番組は学習の仕方についてお話する番組ですので、受験生の皆さんにお勧めしたいことがあります。それは、入学試験が終わった直後はそれまでの学習内容が受験の学習によりかなり積み上げられ、「理解」・「定着」されていますし、また、頭の回転が本当によくなっていますので、それを活かして一気に学習を進めることが一番効果的な学習の仕方だということです。頭が冴(さ)え渡っているこの時期に、今までの学習を振り返ったり、新しく興味のある学習を少しでもしたりすると、どんどん学習が進みます。
- (3)これとは逆に、試験に受かったから、また、落ちてしまってがっかりしたからといって、喜んだり悲しんだりするだけで全く学習をしなくなるとどうなるか、学習をする前、つまり、元に戻ってしまう人も多いです。今まで学習したことをすっかり忘れてしまいます。本当にもったいない状況になってしまう人がたくさんいます。試験が終わった直後ほどそれまで学習したことがよく理解され定着し、頭が冴(さ)え渡っていますので、思い切って今までの中学校の復習や高校での新しい内容の学習、つまり、高校の予習に励むことをぜひ心掛けていただきたいと思います。

2. 卒業式の意味を考え、十分な準備をし、卒業式に積極的に参加しよう—学校や組織の行事の意味をよく考えよう—

- (1)今日の「開倫塾の時間」では、卒業式が間近になったり、卒業式を終えたりした方もいらっしゃると思いますので、学校行事である卒業式は何のためにあるのか・卒業式にはどのような教育的な意味があるのかについてお話をさせてもらいたいと思います。
- (2)学校をはじめ様々な組織では、行事や儀式、セレモニーなどが年間を通じて計画されているところが多いと思います。また、記念行事などが行われることも多いと思います。そのような学校や様々な組織の行事や儀式、セレモニーには必ずそれを行う目的があります。もっと言えば、皆様が多くのことを学ぶことができ、皆様の人生に役立つ、よく生きる、よい一生を送ることに直結します。せっかくそれらに参加するチャンス、機会が得られたのなら、いやいや義務的に参加するのではなく、その目的をよく理解した上で参加していただくと、自分の将来のためになり、また、学校や組織、社会の発展のためにもなります。

(3)日本の多くの学校では、3月のこの時期に卒業式が行われることが多いです。今日は3月中旬ですので既に終わってしまった学校もあると思いますが、これから行われる学校もあると思います。卒業式には卒業生として・在校生として・保護者として・教職員や御来賓として参加する方が多いと思います。ですから、式に参加する機会があれば、卒業式の目的をよく理解して参加するととてもよい勉強になると思います。

例えば先週の3月8日(金)には、福島県福島市松木町にある学校法人有朋学園 有朋高等学院という高等学校の卒業式がありました。私はこの学校の理事長を務めていますので、理事長として卒業式に参加させていただきました。この学校は、中学時代や高校時代に様々な事情から不登校になってしまった生徒のための全日制の高校です。今年は2クラス30名の生徒が卒業しました。

(4)卒業式では、まず校旗(学校の旗)の入場があり、続いて卒業生が入場。開式の言葉、君が代や校歌の斉唱、卒業証書授与がありました。続いて校長先生、理事長、御来賓の代表、在校生の代表、卒業生の代表などの挨拶がありました。また、この学校は小さい高等学校ですので、卒業生30名が一人ひとり感謝の言葉を述べました。これら一連の卒業式の内容の1つ1つはすべて、卒業生一人ひとりの卒業を参加者が心から祝い、これからの人生のよい門出、スタートになってもらいたい、そして、よりよい人生を歩んでもらいたいという原点から長い年月の経験を通して計画されたものだと私は思います。

(5)この卒業式を行うために何週間も前から1つ1つの準備が整えられ、参加者一人ひとりが自分の責任を果たすために日程を調整し体調を整える。そして、卒業式にふさわしい服装をして、始まる時間の前に会場に到着する。式が始まると自分のなすべきことを行って、式の終了まで卒業生を見守る。このような一連の流れができていると思います。1つ1つを卒業生のためにしっかりやろうと一所懸命やっていることが本当によくわかります。

(6)私は理事長を務めていますので、卒業式の日程は一年前から知っており、欠席することのないようこの日には他の予定を入れることはありませんでした。卒業式の当日は夕方まで一切予定を入れませんでした。あとから入ってくる会合はたくさんありましたが、すべてキャンセルしてこの日の2時間の卒業式に備えたのです。私は栃木県に住んでいますので、当日に福島までの新幹線が遅れると困ると思い、式が始まる2時間ぐらい前にJR福島駅に到着し、理事長としての挨拶の内容を考えました。今年の卒業生はもっと古典に親しんだほうがよいのではないかと思い、挨拶の内容を「高校を卒業したら古典に親しもうー古典との対話で自分を振り返る力、思慮深さを一生かけて身に付けようー」として、5・6分で話せるようにまとめました。その内容を原稿用紙に書いて何回も読み、なるべく空で言えるようにしました。

(7)私以外に挨拶をした校長先生や御来賓の代表・保護者の代表・卒業生の代表・在校生の代表の人たちも、卒業生や出席されている皆さまの前で卒業式にふさわしいお話をしようとして一人ひとりが準備をされたと思います。また、この学校の場合には、卒業生一人ひとりが伝えたいことを感謝の言葉として文章にまとめて朗読をします。卒業生はその準備もなされたと思います。撮影をする準備や記念の文集を作る準備、各クラスの担任の先生はホームルームで最後の挨拶をしますので、十分に準備をして挨拶をされたと思います。だからこそ、卒業式に参加した方々は深く感動し、よい卒業式に参加できて本当によかったと感じたと思います。卒業生もその思いに応

えようと立派に卒業式を終えて、卒業生としての自覚をもって、自信をもってこれからの人生を歩む決意をしたと思います。

3. おわりに

- (1)このように、卒業式は卒業式の意味、目的をよく自覚して参加者一人ひとりがきちんと準備をし、また、参加をしますと、相当の教育効果を上げます。ぜひ卒業式には積極的に参加していただいて、みんなで卒業生を盛り上げることをしたらよいかと思います。日本の学校や様々な組織には年間を通していくつかの大切な行事や儀式、セレモニーがあります。せっかく参加なさるのでしたら、1つ1つの行事の意味をよく理解して準備をした上で参加すると、参加なさったお一人お一人に素晴らしい教育効果が生まれます。また、感動や素晴らしい人生も歩めるのではないかと思います。
- (2)今日は卒業式のお話をさせていただきました。

— 2013年9月5日加筆・訂正、林明夫 —